

# フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行：中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.johas.go.jp/>



## 「口腔機能低下症」って ご存じですか？

歯科口腔外科 部長 木下 一彦

「硬いものが食べにくく  
なった。」

「食べかすが口に残るようになった。」

「食事の時におせるようになった。」

以前と比べて、そのように感じる事が多くな  
っていませんか？

「口腔機能低下」が起こっているかもしれ  
ません。これは加齢により、お口のなかの  
「感覚」「噛む(咬合)」「飲み込む(嚥  
下)」「唾液分泌」の機能が低下してくる症  
状です。歯磨きがうまくできていなかった  
り、入れ歯の不調があっても歯科医院に行か  
なかつたりすると、虫歯や歯周病が進行して  
噛みにくくなります。噛む力が低下すると野  
菜やお肉を避けるようになり、栄養の偏りや  
エネルギーの不足につながり、健康に悪影響

です。かかりつけ  
歯科医院で、「口  
腔機能低下症」の  
診断と管理を行う  
ことが、健康維持  
につながります。



インプラント治

療は、噛む機能の大幅な改善が可能であるこ  
とから「口腔機能低下症」の管理の点からも  
注目されています。総合病院である当院のイ  
ンプラント治療は、日本口腔外科学会専門医  
が、内科等の関連各科と連携して行いますの  
で、糖尿病や高血圧、心疾患、骨粗しょう症  
等の疾患がある方も、安心して手術や治療を  
受けていただけます。お気軽にご相談くださ  
い。

### 今月号のお知らせ

- ①「口腔機能低下症」ってご存じですか？  
…………… 歯科口腔外科 部長 木下 一彦
- ②がんの早期発見、早期治療のために  
…………… 入退院支援センター看護師長  
がん化学療法看護認定看護師 後藤 真澄

- ③がん患者さんの治療と仕事の両立支援  
…………… 医事課 MSW 加藤 恵里
- ④病院からのお知らせ  
病院の理念・当院の基本方針、編集後記



## がんの早期発見、早期治療のために

入退院支援センター看護師長  
がん化学療法看護認定看護師 後藤 真澄

現在、日本では2人に1人ががんになり、がんは死亡原因の1位です。私たち認定看護師は、日々、患者さんのがん告知の場面に立ち会わせていただいています。今回は、患者さんやご家族からいただく質問などをお伝えすることで、皆様に参考にしていただけたらと思います。

**Q1.** 毎年検診を受けていたのに、どうして検診では見つからなかったの？

**A1.** がん検診で100%がんが見つかる訳ではありません。検診を受けていたとしても、検診の時点では見つけられない小さながんであったり、急激に進行するタイプなどがあったり、検診で発見できずに何らかの症状が出て発見に至る場合もあります。

**Q2.** 痔だと思って受診していなかったが大腸がんだった。

**A2.** 検診で便潜血が陽性となり受診を勧められても、痔だと思って受診しない方がいます。痔であっても、出血が多ければ貧血になることもあります。特に男性は恥ずかしいと感じる方もいらっしゃいますが、勇気を出し

て、ぜひ受診して下さい。

**Q3.** いつも〇〇科に受診していたのに、どうしてがんになっていることが分からないの？

**A3.** がんは身体の中のあらゆる場所にできます。がんを疑って検査をしない限り発見は難しく、〇〇科では受診している病気の検査以外は行いません。（症状がない場合、検査しても保険が通らないのです。）かかりつけがあっても、がんの検診を受けましょう。

**Q4.** がんかなと思っていたけど、怖くて受診できませんでした。

**A4.** がんと言われるのが怖いとおっしゃる方は多くいらっしゃいます。ただ、もしがんであれば、遅くなるほど大変なことになります。はじめから診察を受けるのが怖いと思う方は、看護師への相談も可能です。がん相談支援センター（よろず相談室）へご連絡下さい。





# 紙面健康セミナー



## がん患者さんの治療と仕事の両立支援

医事課 MSW 加藤 恵里

がん患者さんの約3人に1人は20代～60代で罹患しています(国立がん研究センターがん対策情報センター『全国がん登録罹患率・数報告』より)。働く世代の皆さんががんと診断されたら、病気のことはもちろん、それ以外にもいろいろな心配ごとが生じるでしょう。「勤務先に伝えるべきか、どのように伝えたら良いか」「キャリアに影響がないか」「仕事を続けていけるか」「症状や副作用で勤務先に迷惑をかけないか」「治療費や生活費が心配」「家事や育児と両立できるか」……

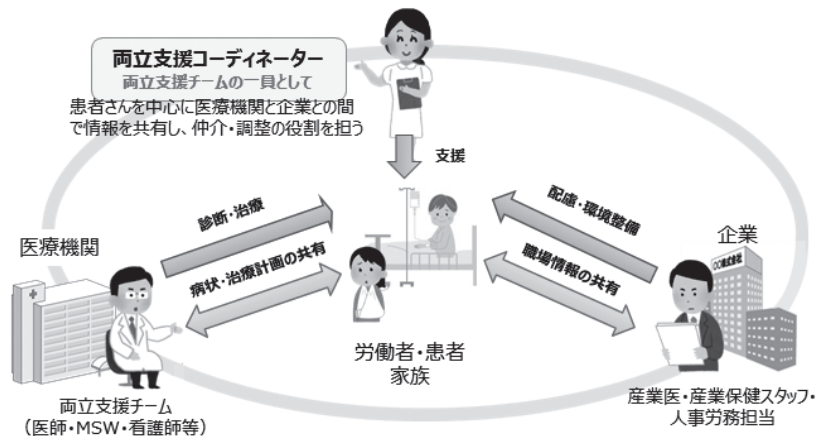
多くの就労世代の患者さんが、治療と仕事の両立について何らかの葛藤を抱えています。がんの治療は、がんの種類や進行度に応じて手術(外科治療)、化学療法(抗がん剤治療)、放射線治療等の様々な治療を組み合わせることが基本となりますが、手術が終わってからも他の治療を続けることが少なくありません。近年は入院日数が短縮化し、通院治療が増えています。仕事を続けていくため、場合によっては勤務先へ、仕事に影響を与える病状や治療内容につい

て情報提供し、仕事内容に応じて働き方を配慮・検討してもらう必要があります。勤務先としても、従業員が治療を続けながら働ける方法を検討するため、適切な情報提供を求めています。

当院には両立支援コーディネーターの研修を受けた看護師や医療ソーシャルワーカー等があり、必要に応じて院内・外の関係者や職場との連携をとりながら、治療と仕事の両立をサポートしています。仕事と治療の両立や治療費・生活費の心配ごと、使える社会資源に関する相談等は、気軽にご相談ください。



### 治療と仕事の両立支援



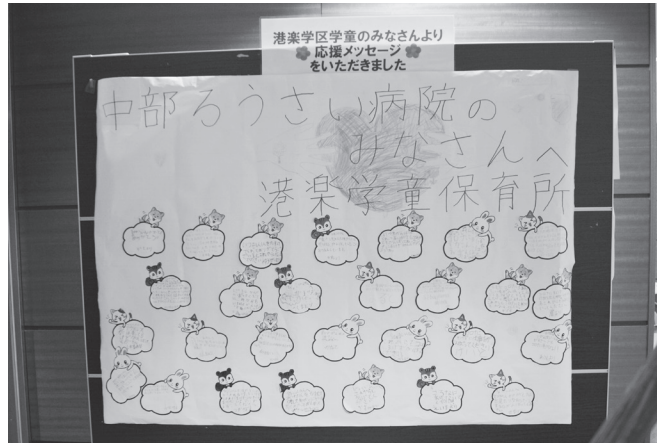
## 病院からのお知らせ

### ★患者会をWEB会議形式で実施しています★

がん患者会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、以前の集合形式(当院に患者さんがいらして、対面で実施していた)から、「ZOOM」というWEB会議ツールを利用したオンライン形式での実施に変更しています。詳しくは、当院ホームページ・Facebookまたはよろず相談室でご確認ください。

港楽学区学童の  
皆様から  
応援メッセージを  
いただきました!

温かいメッセージをいただきました。お心遣いありがとうございました。これからも地域の皆様が健やかに過ごせるよう努めますので、よろしくお願いいたします。



### 当院の理念

納得、安心、そして未来へ

### 当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

### ～ 編集後記 ～

今号では、歯科治療及びがん治療に関する情報を提供させていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、セミナーや講演会による情報の発信が難しい状況が続いております。紙面で引き続き治療や疾患に関する情報を発信しますので、よろしくお願いいたします。